事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要											
氏名又は名称		:	株式会社TOT(0 K U (日:東京特別	殊電線株式会社)					
代表者名	氏名		牧謙		役職名	取締役	社長				
主たる事務所 の所在地			東京都海	港区西新 ⁷	橋三丁目 8	3番3号					
主たる事業	大分类	頁 E 製造業									
の分類	中分類	頁		2 3	非鉄金属製	製造業					
主たる事業 の概要	電線・	電線・電線加工品及び、電子部品・部品の製造・販売									
	✓ 条	例第12条第1	1項第1号及び条例	列施行規則	則第4条第	2項第1号に該当す	る事業者				
制度に該当する	□ 条	□ 条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者									
要件	□ 条	条例第12条第1項第2号に該当する事業者									
		:記以外(任意	意提出)の事業者	全							
	基	基準年度実績	最終年度の目標	第一年	度報告	第二年度報告	第三年度報告				
原油換算エネル ギー使用量	kl	2, 118	2, 012		2, 155	2, 424	2, 211				
エネルキデー起源二酸化 炭素排出量	t- CO ₂	3, 928	3, 731		4,002	4, 504	4, 099				
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂	0			0	0	0				
自動車の台数	台	8			8	8	8				
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂	9/1									
2 基準年度、言	計画期間	間及び報告対	象年度								

2	基準年度、語	計画期間及び	ド報告対象年	三度				
	基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度~	2022	年度
	報告対象 年度	2022	年度					

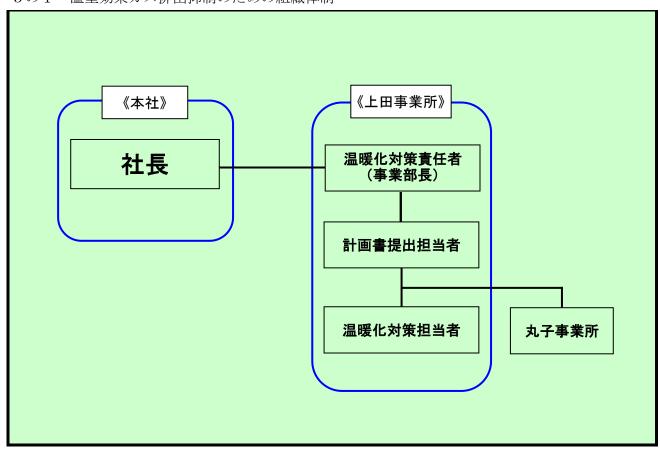
3	計画書	(報告書)	の公表方法等
J			

	FIET (INTE)	
7	ホームページ	http://www.totoku.co.jp/
	印刷物の閲覧	
	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

古河電工グループの環境管理方針に基づく環境目標により、進捗管理を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境マネージメントレビュー時に開催 年1回程度

6 Ø 1	エネルギー	-起源二酸化质	景素の排出抑	制に係る目標	及び実績
-------	-------	---------	--------	--------	------

6の1	4	アル	ギー起源一酸化炭素	素の排出抑制に	- 1年の日	保及 い 天順			
基 準	年	度	基準排出量	3, 928	t-CO ₂	加工料収入	2, 924. 00	単位	百万円
2019	年	度	調整後排出量	3, 928	t-CO ₂	基準原単位	1.34	t-CO ₂ /	百万円
目標	年	度	目標排出量	3, 731	t-CO ₂	目標原単位	1. 27	t-CO ₂ /	百万円
2022	年	度	目標削減率	5. 01	%	目標削減率	5. 00	%	
			3年間で5%の抑制	目標を達成する	らととも	に、ピークカッ	トの取組を進	色めてい	<.
目標調関する									
第一	午亩	:	排出量	4, 002	t-CO ₂	加工料収入	3, 128. 30	単位	百万円
777	十尺		削減率	-1.89	%	原単位	1.28	t-CO ₂ /	百万円
2020	年	毌	調整後排出量	4, 002	t-CO ₂	原単位削減率	4. 47	%	
2020	+-/		削減率	-1.89	%				
			設備が増え生産が	増えた為					
排出量 増減									
第二	在唐	;	排出量	4, 504	t-CO ₂	加工料収入	3, 628. 66	単位	百万円
77	一尺		削減率	-14. 67	%	原単位	1.24	t-CO ₂ /	百万円
2021	年	1 年度	調整後排出量	4, 504	t-CO ₂	原単位削減率	7.46	%	
2021	T-/		削減率	-14.67	%				
排出量 増減		り	設備が増え生産が	増えた為					
第三	在庫		排出量	4, 099	t-CO ₂	加工料収入	3, 249. 20	単位	百万円
ガ <u>ー</u>	一尺		削減率	-4.36	t-CO ₂	原単位	1. 26	t-CO ₂ /	百万円
2022	年		調整後排出量	3, 356	t-C02	原単位削減率	5. 97	%	
4044		又	削減率	14. 56	%				
目標の 況及び の増減	排出	量	再生可能エネルギーネ等取組をしました						省工

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

007227709	一起你一瞥化灰糸以外	・ツ温至効オ	ミカスの	排出抑制に係る目標及	【ひ夫領
基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明					
第一年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
另一	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2020 平度	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
另 <u>一</u> 十及	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2021 平度	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第三年度	排出量	0	t-CO ₂		単位
为二十 反	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2022	削減率		%		
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の3 自動車	車の使用に伴う二酸	化炭素の排出抑制に	[係る]	目標及び実績	
基準年度	基準排出量	24	t-CO ₂	+h 2/4 2/4 / I	単位
2019 年度				基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に関する説明					
第 一年	第一年度排出量				単位
第一 年度	1951年		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	削減率		%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量	排出量			単位
31— TX	M M E		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	削減率		%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由					
第三年度	排出量		t-CO ₂		単位
弗二 平皮	(F)山里		$\iota^-\cup 0_2$	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	削減率		%	原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim II$	I -1	燃料使用量等の 定期的な把握						
1 11	I -2	エコドライブの 励行						
Ш	∭-1	次世代自動車の 導入計画						
IV		次世代自動車の 導入						

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

		区分			計画		状況
番号	区分	区分 番号	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330299	空調設備 省エネ機器への入替	2020~ 2022	9		
2			LEDの導入	2020~ 2022	2	2020~ 2021	13.4
3	エネ起	350699	高効率変圧器の採用	2020~ 2021	10		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光パネル	kW				153. 9	259. 5

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	第一年度		年度	第三	年度
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500kl以上 3,000kl未満					1	3, 039	1	2, 853
1,500k1未満	2	3, 928	2	4,002	1	1, 465	1	1, 246
合計	2	3, 928	2	4, 002	2	4, 504	2	4, 099

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-C0_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0			
CH ₄	0			
N_2O	0			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF_3	0			
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車	1	1	1	1
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	2	2	2	2
自動車総数	8	8	8	8
次世代車導入割合	25	25	25	25

13 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関 の利用促進	特になし
自 転 車の利用促進	特になし
来 客 者 の 交 通 対 策	ハイブリット車による送迎
物流の合理化	特になし

14 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細		
		実施内容	実施年度	
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している		
	環境マネジメント システム	環境マネジメントシステムを導入している		
		名称 IS014001	1999年	
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
	DE100	□ RE100にコミットしている		
	RE100	□ 再エネ100宣言RE Action へ参加している		
	その他			

1 5	自由記載欄